

遠山邸大広間
端午の節句飾り
4/23(水)-5/11(日)



遠山邸2階

春の公開日
4/19(土)
5/10(土)



秋の公開日
9/20(土)
10/13(月・祝)

遠山邸大広間

雛壇飾り
2/7(土)-3/15(日)



2025
3/20(木・祝)-5/18(日)
テーマ展
近代の「日本画」

—橋本雅邦から横山大観まで—

明治維新によって、江戸時代の様々な制度はその形を大きく変えていきます。絵画においては狩野派などの家組織が解体され、学校で絵画が教授されるようになったのです。特に東京美術学校では旧狩野派の橋本雅邦の門下から、横山大観や菱田春草らが育ち、西洋絵画の影響を受けた彼らの作品は、後に「日本画」と呼ばれるようになります。本展では遠山記念館の日本画の精鋭を並べます。

5/31(土)-9/21(日)
コレクション展1

2025年の大河ドラマ「べらぼう〜蔦重栄華乃夢噺〜」の放送に合わせ、喜多川歌麿「美人夏姿図」などの浮世絵をはじめ、江戸時代中期の作品を中心に展示します。また、コレクションの中から、夏にふさわしい作品を選んで紹介します。

10/4(土)-11/16(日)

特別展

中国絵画への憧憬

—楊文驄「江山孤亭図」と江戸時代の文人たち—

明王朝の遺臣として清王朝と最期まで戦った楊文驄は、日本の文人達たちから尊敬される存在となりました。遠山記念館で所蔵する楊文驄「江山孤亭図」は、南画家である山本梅逸が入手し、頼山陽が袴を付けて出迎えたという逸話で知られます。本展ではこの「江山孤亭図」をはじめとする日本国内の楊文驄の作品を集めるとともに、それを受容した梅逸、山陽などの作品を並べ、この近世南画史の一面を浮かび上がらせるを試みます。

2026

11/29(土)-1/18(日)

コレクション展2

年末から年始にかけてのコレクション展です。遠山記念館の所蔵品の中から、新年の干支である馬を象った木彫作品である米原海雲「馬」をはじめ「源平武者絵」など馬に関連する作品、そして「松竹梅鶴亀模様白綾子地打掛」など正月をお祝いするのにふさわしい染織品や工芸作品を選んで展示します。

2/7(土)-3/15(日)

テーマ展

雛の世界

江戸期には人形文化が開花し、独自の雛人形を母体に多彩な人形が登場しました。立雛、享保雛、古今雛、芥子雛や近代の名工たちの作品のほか、今回は「子どもと遊び」をテーマにして子どもたちの愛玩した人形や玩具類を紹介します。あわせて遠山邸の大広間では恒例の雛壇飾りの展示を行います。

3/28(土)-5/10(日)

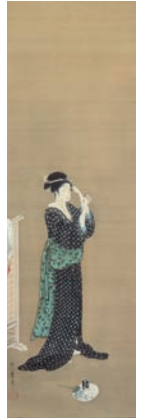
テーマ展

茶道具と床飾り

室町時代、書院造りの成立とともに、足利将軍家周辺で床の間に掛軸や香炉を飾り付ける作法も定められていきました。本展では遠山記念館の所蔵品の中から「青磁香炉 銘浦千鳥」や「菊蒔絵硯箱」など床飾りに関連する作品と共に、「玉垣文琳」や「黒楽茶碗 銘巖」などの茶道具の優品を選んで展示します。



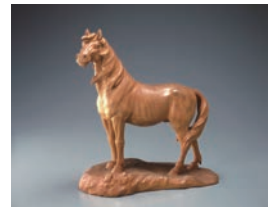
橋本雅邦
「橋上鍾馗図」



喜多川歌麿
「美人夏姿図」



楊文驄「江山孤亭図」



米原海雲「馬」



享保雛



「菊蒔絵硯箱」

開館時間 午前10:00～午後4:30(入館は4:00まで)

入館料 特別展 大人1,000円(800円) 学生800円(640円)

通常 大人800円(640円) 学生600円(480円)

庭園邸宅のみ 大人600円(480円) 学生400円(320円)

中学生以下は無料、()は団体料金です。

休館日 月曜日(祝祭日の場合は開館、翌日休館)

また下記の日程で休館させていただきます。

4/22(火), 5/13(火), 7/29(火), 12/21(日)～2026 1/4(日),

2/5(木)～2/6(金), 3/17(火)